

第 1 章 はじめに

近年，インターネット技術，中でも WWW (World Wide Web) を用いた技術は新しい情報発信の手段として急速に発展しつつある [13]．教育機関の多くが WWW を通しての情報発信を行っており，WWW の重要性は増大しているといえることができる．これまで，WWW で情報発信をしようとする様々困難が存在し，専門家の力に頼らざるを得ない場合が多かった．しかし，ブロードバンドと呼ばれる高速通信網などの技術面での急速な進歩によって低価格で手軽に情報発信できる環境が整いつつあり，個人による有用な情報の発信も急増している．このような状況で国立特殊教育総合研究所も効果的に情報発信を行うことが求められている．

本研究では，国立特殊教育総合研究所において効果的な情報発信を行うための方法について，内容面，構造面での提案を行うことを最終目的とし，平成 14，15 年度一般研究課題として計画，実施された．各都道府県の特殊教育センターが公開している Web ページを調査し，内容の分析を行った．その際，西牧孝徳氏による平成 11 年度国立特殊教育総合研究所長期研修研究課題「養護学校におけるインターネットの利用に関する研究」[11]を参考に，調査計画を立案した．以下，第 2 章でインターネットについて，その誕生から現在に至る経緯を簡単に述べる．第 3 章でわが国におけるインターネットの教育利用についてこれまでの取り組みについて説明する．第 4 章では，各都道府県の特殊教育センターが Web ページで発信している内容に関する調査について，調査内容，手順，結果を述べる．調査結果を踏まえて判明したことなども合わせて述べ，最後に第 5 章でまとめる．